

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立国際交流センター	所管課	国際交流課
所在地	甲府市飯田2-2-3	設置年月日 (改築年月日等)	平成2年11月30日
管理方式	指定管理者((財)山梨県国際交流協会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立国際交流センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に国際交流活動等の機会と場を提供し、もって国際化に即した地域社会の発展に寄与するため、国際交流センターを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	1階:大会議室(100人)1室、2階:小会議室(15人)4室、3階:居室(1人)10室、4階:居室(1人)10室、和室(茶道室10人)1室		
主な業務内容	(1)県民に国際交流活動等の機会と場を提供するための事業の実施 (2)国際化に即した地域社会の発展に寄与するための場の提供		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	なし
-------------------	----

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	主催事業等参加者	4,948	5,100	5,760	
	(延べ利用者数)	(22,948)	(24,361)	(22,846)	
	利用者数合計	4,948	5,100	5,760	
	目標値	4,203	4,583	4,809	5,269
	目標値設定の考え方		H19～21の3か 年の実績平均を 算定し、昨今の 景気動向を勘案 してH22の目標と した。	H20～22の3か 年の実績平均を 算定し、昨今の 景気動向を勘案 してH23の目標と した。	H21～23の3か 年の実績平均を 算定し、昨今の 景気動向を勘案 してH24の目標と した。
	対21年度比	100.0%	103.1%	116.4%	106.5%
会議室(大・小のみ)稼働率		30.9%	35.7%	25.0%	29.0%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	35,820,000	36,725,000	36,725,000	37,448,000
	その他	24,095,400	28,020,000	21,892,934	18,049,000
	収入合計(A)	59,915,400	64,745,000	58,617,934	55,497,000
支出	人件費	27,731,750	30,086,000	27,330,672	24,026,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	30,360,485	34,659,000	30,654,004	31,471,000
	(うち外部委託費)(B)	5,334,735	5,449,000	6,041,585	5,449,000
	支出合計(C)	58,092,235	64,745,000	57,984,676	55,497,000
収支差額(A-C)		1,823,165	0	633,258	0
外部委託比率(B÷C)		9.2%	8.4%	10.4%	9.8%
利用者一人当りの経費		1,470	-	1,608	-

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(HO~O年): (支出-収入) ÷ 利用者数、指定管理者(HO~): 指定管理者委託料 ÷ 利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月~24年3月、実施方法:貸館利用者へのアンケート、回答数:400人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分
利用時の部屋の状態	92.2%	7.4%	0.4%
設備の充実度	88.5%	9.9%	1.6%
設備の整備状況	88.9%	10.1%	1.1%
施設利用料	95.0%	0.0%	5.0%
サービス提供内容	83.8%	15.1%	1.0%
今後の利用意向	98.7%	1.0%	0.3%
各項目の平均	91.2%	7.3%	1.5%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	①駐車スペースがもっとあればベスト。
利用者の意見への対応	①大会議室利用者の車による来所が多い場合は、予め同敷地内の中小企業会館の各団体と連携し、利用予定日に会議や研修等を入れないよう、調整を行っている。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、施設の維持管理業務を適正に執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり、施設の維持管理は良好に実施されている。今後も安全で快適な施設を目指し、管理責任を果たしてほしい。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書等の確認の結果、適正に実施されている。今後も、効果的なPRや各種団体等との連携により、参加者、利用者の増加に努めてほしい。
自主事業	自主事業として外国語講座を実施し、好評を得た。	計画どおり適正に実施されている。
利用状況	会議室等の利用者は、エアコンの修繕により減となったが、主催事業の参加者は、国際フェスタ参加者の増及び日本語講座の講座数の増により増加となった。	外的要因による会議室利用者の減少は仕方がないものの、事業の積極的なPRの効果が認められる。今後も引き続き効果的なPR等を行い、利用者等の増加につなげてほしい。
収支状況	H23は、前年度に比べ税金還付金、農拓返還金などの収入減により収支差額が減少した。3年に1回の建築物定期調査により外部委託比率が増加した。施設の老朽化という条件下においても、節電・節水の徹底などにより更に収支の改善を図る。	利用者等の増加を図り、必要な修繕等を行う中でも経費節減に努めていることは評価できる。効率的な運営管理のため、より一層の経費節減に努めてほしい。
利用者満足度	会議室利用者からは、概ね満足の結果が得られた。	利用者の評価は概ね満足のできる結果と考える。今後も利用者等の声を取り入れ、国際交流拠点としてのセンターの機能強化により一層努めてほしい。
運営目標の達成状況	効果的なPR等の実施により、会議室稼働率、主催事業参加者数とも目標値を上回った。よって、①県民に国際交流活動等の場を提供し、国際化に即した地域社会の発展に寄与する ②国際交流事業等の実施を通じて、国際交流や国際協力等に対する県民の理解を促進する機会を提供するという運営目標は達成できている。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務・自主事業等について、条例、協定及び仕様書等に基づき概ね適正に履行した。また、経費削減に努めるとともに、利用者ニーズの把握にも努め、利用者サービスの向上と、参加者数と利用率の向上に向け努力している。平成24年度も引き続き、快適で安全な施設を目指すとともに、国際交流拠点としての機能を強化し、より一層の参加者数、利用率向上に向けて努力していかれたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	平成23年度には、センター大小会議室のエアコン機器更新(ダクト等除く)が実施されたことから、利用者にとって快適な環境となった。利用者の増加に向け、利用者のニーズを把握し、より利用しやすい施設を目指してきめ細かな方策を講じていく。 また、国際交流拠点としての特性を最大限に活用しながら、県民参加型の各種事業が展開できるよう取り組む。	

7. 管理体制(組織図)

